

議 長
確認印

湯遊ランドはなわ調査特別委員会会議録

1 日 時	開会 令和7年2月20日 10:00 閉会 令和7年2月20日 11:52
2 場 所	委員会室
3 出席委員	鈴木元久、金澤太郎、小林達信、吉田広明、七宮広樹（遅参）、下重義人
4 欠席委員	なし
5 出席要求者 （説明員）	まち振興課長、課長補佐兼商工観光係長
6 職務出席者	議会事務局長、書記
7 付議事件	第1 湯遊ランドはなわ経営改善取り組みの状況について 第2 今後の日程及び調査について その他
8 議事の経過	金澤太郎副委員長による開会 鈴木元久委員長あいさつ 第1 湯遊ランドはなわ経営改善取り組みの状況について 委員長：説明を求める。 （まち振興課長が資料に基づき説明） 委員長：質疑あるか。 吉田広明委員：インバウンド対応について、県から来ているものあるか。 まち振興課長：取扱いが難しいと思っているが、県南地方において台湾の方の誘客に向けて県と動いている。湯遊ランドにおいては、インバウンドも大事だが、まずは近隣の方をきちんと迎えられる体制づくりに努めたい。 吉田広明委員：受け皿をつくってからでは遅い。まずは営業力で誘客することで、売上の貢献につながる。別な話になるが、テナントを募集した実績あるか。シックハウスの有効活用など、今後考えはあるか。 まち振興課長：現在湯上りの箇所・休憩所をクローズしている。どこかチェーン店等に営業していただけないか交渉したが、決定するまで至っていないと聞いている。 吉田広明委員：カフェを設置することを提案したい。（美味しいことが前提だが） まち振興課長：今後の企画の中で考えていきたい。 下重義人委員：毎月のイベントの状況を伺う。 まち振興課長：国の交付金を使って、埴町に宿泊客を増やすべく取り組みをしている。金額が高いのではという声もあるが、宿泊をする方にはとてもお得になっている。成果だが、東京からの客は思ったほどいない。アクセスもあるが、雪の影響もあると思われる。（福島県＝雪が多いという印象） マスコミ等へ掲載しPRをしている。 下重義人委員：湯遊ランドの売りは、自然が豊かなことを楽しみながら宿泊すること。その売りをPRすべき。ふるさと納税の返礼品に、ランドの宿泊券はあるのか。なければ今後の考

え。外国人の誘客もいいが、地元の人たちが楽しめる施設にしようという方向になるよう願う。

まち振興課長：埜町全体の宿泊割引券を返礼品にできないか計画している。

副委員長：どのように助成金を使っているのか。有効的に活用されていないのではないかと。ランドで豆まき、縁日イベントあったが内容がみすばらしかった。誘客をするためのイベントなのに、あれでは逆効果になってしまう。

委員長：課長答弁の前にちょっとよろしいか。ホテル権会と湯遊ランド、地域創生事業・協議会について伺う。

まち振興課長：地域創生事業は、湯遊ランド特定ではなく、町全体の宿泊客を増やしPRするための事業。協議会は、観光協会と宿泊施設活性化機構が立ち上げたもの。イベントを実施するのに、湯遊ランドが適しているのでランドで開催した。交付金の使いみちには制約があるため、イベントの内容に見劣りを感じる部分はある。

委員長：協議会では会議を行っているのか。お金の管理は誰がしているのか。決算の時期は。経緯を知る権利がわれわれ特別委員にはあると思う。イベントに湯遊ランドはノータッチなのか。

まち振興課長：イベントにランドスタッフは手伝いしている。何もしないわけではない。（ほか、協議会について答弁） 決算は役場にならって行うものと理解している。

七宮広樹委員：委員長の質問は終了していただき、副委員長の質問に対する答弁をまだいただいているので、ここで一度整理しては。

（後で課長に直接聞いてはどうかという声あり）

副委員長：埜町の交流人口を増やそうというときに、その程度のイベントしかできないのであれば、改善努力には結びつかないという判断をせざるを得ないことを認識いただきたい。

まち振興課長：（ランドの什器類、システム等について答弁）

副委員長：森林環境譲与税等を活用して、県産材を使った什器の整備を検討しては。

まち振興課長：検討していきたいと思う。現在計画中だが、ランドのホールに図書館から本、あぶくま高原美術館から絵画を設置して、来館者に楽しんでもいただくスペースづくりをしたい。そのほか、経営改善として、稼働率・単価を上げる取り組みを進めていく。

吉田広明委員：集客を上げるために健回炉の有効活用、JTBなどと連携・企画できないか。ほか、協議会の人件費について伺う。

まち振興課長：JTB 等については手数料が発生する。（ほか人件費等について説明）

七宮広樹委員：ホテル権会と連携してよい方向に向かっていると思う。しかし、3年間の支援なので、もう少し内容を濃くしてスピード感を持って取り組んでいただきたい。イベントについては、企画立案をもっとしっかりやってほしい。次また行きたいと思う内容に。

今の湯遊ランドは、埜町民に愛されていない。行政区長委嘱状交付の際、営業マンになっていただくようお願いし、ランドのPRをお願いしては。まずは地元で愛される施設に。子どもを対象にしたイベント、受験生向けセミナー、プログラミング授業などの企画を提案する。

委員長：質疑を終了する。

（説明員退席）

第2 今後の日程及び調査について

委員長：今後どのように進めていくか。委員の意見を伺いたいですが、まず私の意見を述べる。

半年に1回くらいの調査。6月中旬に湯遊ランドの総会があるようなので、その結果をふまえて、令和7年7月頃に決算報告の結果、施設の視察の特別委員会を考えている。令和8年1月に中間報告を聞き入れる。次に令和8年7月、特別委員会を開催したい。最終の報告だが、令和9年3月31日で指定管理期間が終了するので、令和8年9月定例会でまとめの報告をしたいがいかがか。

副委員長：今の流れでよいと思うが、令和7年7月の調査では、状況が伸びてきているかどうかを見極めたい。先のスケジュールはその段階で決めてもよいが、今の段階では委員長の考えで進めればよいと思う。

七宮広樹委員：コンサルの話も聞きたいところである。成果等。

副委員長：協議会については、湯遊ランドのためだけではないので、他の手段で調べるしかないのではないか。

（他、委員間でやりとりあり）

委員長：その他、視察研修について。事務局に説明を求める。

（書記が資料に基づき視察先案を説明）

委員長：意見あるか。

副委員長：農業公社関係だが、飯綱町のほか上田市周辺で広域で取り組んでいるところも追加で視察できないか。

委員長：詳細、行程等は事務局と調整したい。他ないので終了する。

副委員長による閉会

埴町議会委員会条例第27条の規定により署名する。

令和 年 月 日

湯遊ランドはなわ調査特別委員会委員長